

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲9月の台風接近時に開設した指定避難所のカメラホール

9月前の東日本大震災では、授乳場所がない、着替えができないなど、プライバシーがなく、我慢や危険な環境を強いられる避難所生活を余儀なくされました。このような問題を解消していくためには、災害対応に女性の目線や視点を取り入れていくことが重要です。避難所運営マニュアル策定の過程で、女性はもちろん、多様な人々が参画することで授乳室などの多様なニーズが避難所運営に取り込まれ、避難所生活における困難を和らげることが

できます。また、女性の視点を取り入れることで、今まで気付くことのなかった要望に対処できるようになります。災害時の避難所など、プライバシーを守りにくい環境では、性暴力や、子どもの目の前で配偶者などへ暴力を振るう、面前DVが行われることがありますが、これは児童虐待に当たります。暴力の被害を訴えるのは、平常時でも難しい上「非常事態」だからというところで、平常時より被害者が声を上げにくくなります。東日本大震災の経験に基づき、熊本地震や九州北部豪雨災害の際は、災害発生後すぐに性暴力防止のポスターを避

難所に掲示し、防犯ブザーを女性用個室トイレやシャワールームに配置しました。また、DVに関する相談カードを避難所の女性用トイレの各個室に設置したり、支援物資を避難者に手渡しで配布する際に、相談を促したりする取り組みが行われました。市では、災害対応において、さまざまな意思決定の場で女性の参画が確保され、子どもや若者、高齢の人、障がいのある人、性的少数者などへの配慮が進むように、男女共同参画の推進に取り組んでいきます。

好いとお!

Readers Voice 読者の広場

福津

読者の声を中心に、みんなと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のリポートなどを掲載していければと考えています。皆さんの声をお寄せください。

広報9月号の感想
生活習慣や食習慣を
見直したい



特集 集に掲載されていた生活習慣や食習慣の注意喚起は、人生100年時代を迎える子どもがいる保護者や祖父母にとってありがたい情報でした。(Worldさん／通り堂／65歳)

いつもお便りありがとうございます。

9月号では生活習慣を整え、生活習慣病を予防するために「糖分」という切り口で特集を組みました。私たちは日ごろからさまざまな飲み物を口にしますが、製品によっては1日の摂取目安量を超える糖

分が含まれていることがあります。糖分の取り過ぎも塩分と同じように生活習慣病の原因となり、注意が必要です。私たちも健康に関する知識を得て、健康寿命を延ばしていきたいですね。

櫻公園のお手入れ
お礼の言葉を伝えたい

桜公園を毎日1回は歩いていきます。いつも早朝にお会いするかたを「公園の手入れをされているかたと同じかたじゃないかな」と思っていました。街角カメラリポートの記事を読んで、初めて名前を知りました。公園を手入れしてくださって「ありがとうございます。ご苦労様

です」とお伝えしたいです。(へんなふみ台さん／東福岡／71歳)

街角カメラリポートで紹介した大嶋文彦さんは「皆さんに公園の花々を楽しんでほしい」との思いから、ボランティアで公園の手入れをされています。記事を投稿してくれました。記事が投稿されてから、大嶋さんが手入れをされている公園は地域の憩いの場となっているそうです。

広報ふくつでは「多くの人に楽しんでもらいたい」という思いを持っていかたを紹介する機会が多くありますが、この思いは「誰もが幸せなまち」を実現するために大切なものの一つではないかと思えます。



▲木々や四季折々の草花を楽しめる場所です

街角カメラリポート

西郷川花園は菜の花やコスモスなどを見るために、多くの人出がありますが、ふれあい広場ふくまの前、西郷川と国道3号線高架橋下の桜川沿いも皆さんの憩いの場所になればと思います。

私は福津市が誕生した年の7月に北九州市から移住してきました。住民になって数年後、地域の役員を引き受け、桜川沿いの荒地の草刈りと花壇の整備をボランティアで行うようになりました。現在も

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題を写真とともにお届けします。地域の人たちと一緒に活動を継続しています。川沿いに植えている草花や樹木は地域の皆さんから寄贈されたものがほとんどです。今では季節ごとにさまざまな花が咲きます。春には梅やアヤメ、ワトソニアなどが川沿いを彩ります。夏はヒマワリ、アガパンサス、秋はコスモス、彼岸花を楽しむことができます。花壇は伐採した竹や樹木などを作り、堆肥は刈り草などを使い、できるだけ自然に戻す物を利用しながら気長に手入れをしています。近所のかたから草花をいただく「花が咲く頃の散歩がとても楽しみ」と声を掛けられることもあります。

川沿いがきれいになったことで、犬の散歩やジョギング、カメラを手に歩く人などを見かけるようになりました。ふれあい広場ふくまに出かけた折にでも訪れてもらえるとうれしく思います。(S・Fさん／上西郷)

丁寧なお仕事に感謝

コロナ禍のうつつと続いた日々が続く中、今期の草刈りの事業者のかたの丁寧なお仕事に大変感謝しています。犬の散歩で公園や遊歩道を歩くたびに、細部にわたる行き届いた清掃は爽快な気分になり、毎日癒やされ

ています。本当にありがとうございます。(ピースライオンさん／若木台／73歳)

私も草刈りをしているかたを見掛けることがあります。丁寧な作業をされている姿に頭が下がります。草刈りに限らず、仕事やボランティアを通じて、多くの人たちの力と力によって、この福津は成り立っていると感じています。

お便り・投稿大募集

「好いとお!福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば21ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラリポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

してください。投稿記事は500文字程度で作成し、写真は郵送の場合は印刷したものを、メールの場合は2MB以上のJPEGデータを送付してください。ただし、送信データが10MBを超えると受信できないことがありますのでご注意ください。

お送りいただいた内容は、紙面の都合で加筆、修正、短縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考しますので、掲載できないこともあります。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。皆さんの声をお待ちしています。**受付、問い合わせ** 市まちづくり推進室 ☎43・8113、メール info@city.fukutsu.lg.jp